



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
772号 2019年8月27日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax: 870-0335
 携帯: 090-5587-7693
 Mail: sugimori@max.hi-ho.ne.jp

第2回臨時会

牛久シャトー全体を賃借

牛久市議会は8月1日、第2回臨時会を開催し、開会前に牛久シャトーに関し、オエノンホールディングス株式会社と基本合意したことについて、市長より以下のような報告がありました。

牛久シャトーは基本的には民間の施設だが、国指定の重要文化財であり、市のランドマークであり、そして何より市民の皆様の大変思い入れの深い施設であることから、次の通り合意した。



- 1) 牛久市とは、これまで以上に重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場を保存活用するため、また、かつての賑わいを取り戻すため、牛久市が牛久シャトー全体を賃借すること。
- 2) 賃貸契約は、2019年内を目途に締結すること。
- 3) 重要文化財等の保存活用を先行して行うため、牛久市の文化財担当部署を牛久シャトー内の事務所に配置すること。

福島原発被害東京訴訟

「終の住処を奪われて」

上映会&講演会

講師 **鴨下祐也** 元福島工業高等学校
 准教授、避難生活

日時 **9月14日(土)** 14時開演

会場 牛久市中央生涯学習センター中講座室

資料代 500円

主催 原発いらない牛久の会

問合せ 080-5193-5218 藤田

あいちトリエンナーレ 2019 表現の自由回復のために 表現の不自由展実行委員会が望むこと

上記実行委員会の声明文を以下に抜粋します。

主に日本で起こった検閲や言論規制を受けた作品を集めた展示企画、あいちトリエンナーレ2019の「表現の不自由展・その後」は、大規模な言論テロによってわずか展示開始3日目にして終了に追い込まれました。

まず、私たち表現の不自由展実行委員会は、以下の点でこの「大規模な言論テロ」に対し憂慮すべきとともに社会的犯罪として抗議の声をあげます。

- 1) 作家の作品を公開する権利を奪ってしまったこと
- 2) 展示施設で働くスタッフの方々に対する「言葉の暴力」で心身両面での疲弊を強いたこと
- 3) 美術展示施設の表現の自由を破壊したこと
- 4) 痛ましい京都アニメーションの放火事件を連想させる犯罪教唆で社会的不安を引き起こしたこと

ヴェネチア・ビエンナーレやドクメンタを筆頭とする、海外の国際美術展は、近年社会のタブーを直視する政治性の強い美術表現を集め、世に問題提起を投げかけています。日本の美術展示ではそれがかなり希薄であることがしばしば指摘されています。

あいちトリエンナーレ 2019 実行委員会・大村秀章会長、津田大介芸術監督には継続して対話を呼びかけていきます。一緒に力を合わせ、多くの市民やジャーナリスト、識者の方からの応援のもと、再開を実現したいと決意しています。

2019年8月15日

東海再処理施設と 福島第一原発のリスク

脱原発ネットワーク茨城は8月4日、春橋哲史さん学習会「東海再処理施設と福島第一原発のリスク～廃止措置の現状とゆくえ」を土浦市で開催し、杉森議員も運営委員として参加しました。

講師の春橋さんは、3.11までは反核・反原発運動に関わったりしたことがなく、2011年12月公表の政府事故調の中間報告書を読んだのが原点とのこと。2012年前半に国会事故調の傍聴し「直接知る」ことの大切さを実感。2013年から原子力規制委員会の定例会、検討会、経産省会議の傍聴、東電の定例会見の視聴、事業者のリリース確認、福島原発事故被害者の訴訟の傍聴、首都圏反原発連合の金曜行動への参加、そしてブログでの発信等を行っています。春橋さんの講演は以下の通り。

東海再処理施設

東海再処理施設には、現在、以下のような放射性物質・廃棄物が残存している。

種別	性状・量	放射能量
液体	高放射性廃液：約 340 m ³	約 340 京Bq
	高放射性廃液：約 24 m ³	約 5 京Bq
	酸性廃液：約 550 m ³	約 10 兆Bq
	アルカリ性廃液：約 4200 m ³	約 10 兆Bq
	リン酸廃液：17 m ³	約 1000 億Bq
	溶媒：約 108 m ³	約 100 億Bq
	化学スラッジ：1265 m ³	約 10 億Bq
	廃活性炭：約 90 m ³	約 10 億Bq
固体	使用済み燃料集合体：265 体	20 京Bq
	ガラス固化体：315 本	176 京Bq
	高放射性固体廃棄物：6757 本	不明
	低放射性固体廃棄物：44727 本	
	プラスチック固化体：1812 本	
アスファルト固化体：29967 本		
気体	クリプトンガス：シリンダ 4 本	約 1000 兆Bq

度重なる機器や設備の保守・メンテナンスに関わる要因での停止・延期が続き、2018年



図1 東海再処理関連施設の配置図

6月、東海再処理施設の廃止措置計画が原子力規制委員会に認可された。しかし、安全に保存するためには、水素掃気、崩壊熱除去の機能を維持しなければならず、電源の確保も必要である。何らかの事故・事件でそれらが失われた場合、残存する放射性物質・廃棄物の量からして、大規模な原子力災害につながるリスクが存在している。

因みに、この施設の建設費は1526億円、1970～2016年の運転経費は6415億円、ガラス固件事業の建設費と運転・技術開発費で1268億円、さらに廃止・安全確保計画の費用見積額は7700億円で、それらはすべて国民が納める税金と電気料金で支払われている。

福島第一原発

福島第一原発事故で放出された放射能量は、日本政府がIAEAに提出した資料によると、ヨウ素131 (16京)、セシウム134 (1.8京)、同137 (1.5京)、ストロンチウム90 (140京) としているが、電力中央研究所の観測によれば、ヨウ素131 (1.1京)、セシウム134 (3500京)、同137 (3600京)、ストロンチウム90 (140京) と発表している。

さらに現在、敷地内に燃料集合体が13,137体、使用済み制御棒等が24,030体残存しており、安全に保存できなければ、さらに大きな原子力災害を発生させる危険性がある。